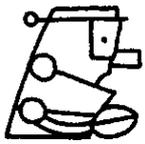


小 / 理科 / 6年 / 地球と宇宙 /  
星の動き / 理解シート

せいざはやみ

## 星座早見の使い方を、教えて



月日、時刻じこくのめもりを合わせ、見る方角の文字を下にしてもち、まどのふちは地平線、中央が真上として見るのさ。

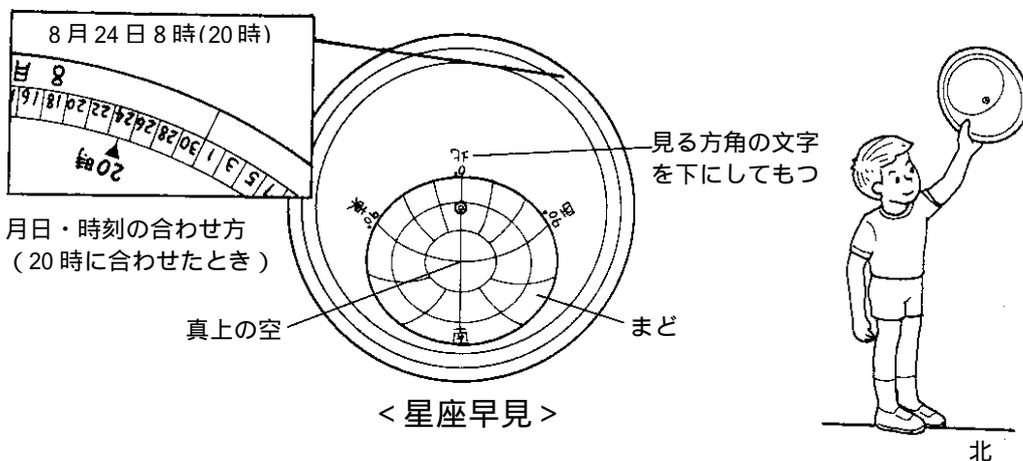
月日と時刻めもりを合わせると、まどに、見える星座が出てくる

星座早見は、季節によって見える星座がちがうことから、星座えがを描いた板の上に、まどがあいた板を重ねたつくりになっています。下の板の月日と、上の板の時刻めもりを合わせると、その日のその時刻に見られる空が、まどの中に出てきます。

見る方角を示すまどのふちの文字を、下にして星座早見をもつ

まどのふちは地平線で、ふちに近いほど、低いところに上っている星座を表し、まどの真ん中に近い星座ほど、頭の真上に見えることを表しています。北の空を観察するなら、方位磁石ほういじしゃくで調べた北の方に向けて立ち、まどの北という文字の部分を下にして、うでをのばして星座早見もち、実際の空とくらべて、星座さがを探します。

本当は丸いものを、一枚の板に描いているので、北の空の地平線に近い星座は、実際よりおしつぶされて、ゆがんだ形になっています。南の空の地平線に近い星座は、ぎゃくに、少し横に引きのばされた形になっています。月やわく星の位置は変化するので、星座早見にはのっていません。てんもんねんかん天文年鑑などで調べましょう。



< 星座早見 >